

# “テキストメッセージング”で子ども虐待予防を目指す「きずなメール事業」全体像

## 自治体の情報と組み合わせて届ける きずなメール原稿の仕組み

「生後〇日」が  
喜び・励ましに

不安軽減への配慮

タイムリーな助言



複数医師による  
医療監修にて、  
根拠のある情報

自治体の子育て  
支援事業や相談窓口  
につなげて、  
「孤育て」を防ぐ

〇〇ちゃんが生まれて0歳5か月、誕生から169日目です。

(きずなメールより)  
<今日のママ・パパへ>  
【離乳食のはじめどき】……………離乳食を  
と思っている人もいでしょう。離乳食は「必  
ずこの時期からはじめる」というものではなく、  
5か月に入り……………

離乳食は、赤ちゃんがごっくんできるヨーグルト  
状にして1種類赤ちゃんスプーン1杯から始め  
ます。おかゆが苦手な赤ちゃんは、かぶやに  
んじん、玉ねぎなどをやわらかく煮てつぶして  
食べさせてみて、飲み込むことに慣れてから  
でもよいでしょう。けつ石は乳児がツリヌス症(ホ  
ツリヌス毒素による中毒)の原因となり、時には  
死に至る可能性があるため、1歳までは与  
えてはいけません。……………

(〇〇市より)  
お母さん同士おしゃべりをして、情報交換や  
リフレッシュをしてみませんか？ 保健師や栄養  
士等に相談もできます。毎月第3金曜日  
午後2時00分- ……………

幹

届け方はさまざま



枝

すべての人に虐待リスクがある現在、  
ローリスク層も含めた  
ポピュレーションアプローチが予防になる。



重度虐待の対象者には専門性  
を持つ人員による対応、  
人的コストが必要

「子ども家庭福祉」及び  
「ポピュレーション  
アプローチ」としての  
「きずなメール事業」

虐待の重症度等と対応内容及び児童相談所と  
市区町村の役割 (厚労省「子ども虐待対応の手引き  
平成 25 年 8 月 改正版」) から作成

妊娠期から約4年間、540通の「きずなメール原稿」を  
とおして自治体と住民との信頼関係を築く。



事業導入をきっかけに、担当課（母子保健課、子育て支援課など）を中心とした子育て体制の連携強化を加速。

2021年度  
活用実績

都内：文京区、中央区、江東区、港区、墨田区、大田区（LINE）、中野区（LINE）  
他：松戸市（LINE） 神戸市、長野市（LINE）、相模原市（LINE）、札幌市（アプリ）